

研究課題名	COVID-19 感染症流行前後の虐待行動や親のストレスの変化とその要因の検討
研究期間	実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2011 年 6 月から 2021 年 1 2 月の間に出生し、広島県安芸郡府中町に住民登録され、かつ期間内に 1 歳 6 か月または 3 歳児健康診査の対象年齢に達する子どもとその保護者の方。
研究の目的・方法	研究目的：この研究は、広島県安芸郡府中町の妊娠届出、赤ちゃん訪問、すこやか赤ちゃん広場、乳児健康相談、1 歳 6 か月児健康診査、3 歳児健康診査等の情報を用いて、新型コロナウイルス感染症流行前後の虐待行動や親のストレスの変化とその要因を明らかにし、継続的な子育て支援を検討するものです。この研究により、新たな子育て支援における社会資源の開発にも役立つと考えています。 研究の方法：本研究は、安芸郡府中町子育て支援課より提供された健康診査等の情報を調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	健康診査等の情報から使用する内容は、属性、妊娠届、すこやか赤ちゃん広場時の問診票、乳児健康相談時の状況、1 歳 6 か月児・3 歳児健康診査時の問診票、健診結果等の項目です。 (個人を特定可能な情報は入手しないため解析にも用いません)
外部への試料・情報の提供	広島大学から外部へ情報を提供することはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2021 年 8 月 4 日）以降
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科健康情報学 教授 恒松 美輪子 既存試料・情報の提供機関 広島県安芸郡府中町子育て支援課 戸田一美
その他	本研究は、これまで研究に資料を提供したくない場合は、2021 年 1 2 月 31 日までに申し出たものについてはデータを削除するよう通知してまいりましたが、申し出期間は満了となり、お申し出期限後は誰のものかわからないよう個人情報を加工したため、データを削除することができません。
研究への連絡先・お問合せ先	本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することが

できますので、お申し出ください。

〒734-8551

広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5353

広島大学大学院医系科学研究科 健康情報学研究室

教授 恒松美輪子 (研究責任者)

研究員 田川 紀美子 (担当者)